

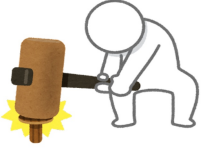
Take your time  
自分の時間を生きて  
人と自分を大事にし  
一歩ずつ前へ進む

# 帯山中 progress

おびぶる

不定期発行

文責  
熊本市立帯山中学校  
教頭(公認心理師) 田中慎一郎  
tanaka.shinichiro@  
city.kumamoto.lg.jp



## やりたいことをやって なりたい自分になる

「出る杭は打たれる。」という言葉があります。杭を釘に例えると周りよりも出すぎたら、ハンマーで打たれて元に戻されるという意味です。「中途半端に出るから打たれる。出すぎたら打たれない。」そう説明する人もいます。しかしながら、出すぎたら今度は抜かれてしまいます。どうしたら良いのでしょうか。

がんばって結果を出しても、目立つことで周囲が妬み、活躍することを邪魔されるのであれば、なるべく目立たないような生き方をしたほうが良いと考えたくなります。しかし、そんなことで、せっかくの成長のチャンスをつぶすのは、自分の人生にとって残念な話です。

「打たれる」「抜かれる」これらは、周りがする行為です。打たれようとしたときには打たれなければいいし、抜かれそうになれば、抜かれないよう必死にそこにとどまれば良いのです。大事なことは、自分の気持ちに正直になることです。努力をしたいというものが目の前にあって、夢を実現するためにがんばることはとても素敵なことです。周りが自分にどう出るかを心配するあまり、成功のチャンスを逃さないようにしたいですね。

前に向かって進めば、上手いかわないこともあります。失敗が怖い人もいるかもしれません。100%失敗しない方法がただ一つだけあります。それは、何もしないことで

す。動かなければ失敗は起こりません。家の中にじっとしていれば、交通事故に遭わないのと同じです。

人生の目的は何なのかと考えた時、私はなりたい自分になることだと思います。「お金持ちになりたい。」「友達をたくさん増やしたい。」など、なりたい自分の姿には、いろんな形があるでしょう。いずれにしても、なりたい自分になるためには、その方向に向かって動かなければなりません。しかしながら、先に説明したように動けば失敗もあるし、心が傷つくことだってあります。

今一度、なぜ私たちは生きているのか考えてみます。おそらく、傷つけないために生きているの

ではないと思うのです。私たちは、やりたいことをやってなりたい自分になるために生きています。生きる意味について悩んでいる生徒の皆さんは、もしかすると傷つかないことの方に力を注いでいるのかもしれませんが。

何か上手いかわないことがあった時は、ちゃんと動いている証拠です。逆に何も無い時は、立ち止まって動けなくなっていないか心配です。あと数日で新年度が始まります。生徒の皆さんには臆せず自分のやりたいことを思いっきり挑戦してもらいたいと願います。教員である私も、来年度も臆せずに生徒の皆さんのために挑戦を続けます。



## ぼちぼちいこう

little by little



ゴキブリは苦手ですがヘビは1ミリも怖くない田中です。とはいうものの人によって苦手なものってありますよね。前回もここで話しましたが、私は以前、文科省から派遣されて日本人学校で教員をしていたことがありました。▼スリランカという国にいたのですが、私が勤務する学校は小学部と中学部が併設されていました。私は中学生の担任をしていたのですが、小学生に教えることもありました。赴任して間もない頃は小学生の姿を見るのが新鮮でした。▼そんなある日のこと、昼休みに小学生が職員室に駆け込んできました。「先生トカゲがいます！先生怖いから来てください(;´д`) シャアアアアっていつてます」▼いやあ～やっぱ小学生かわいいですね！トカゲはシャアアとは声を出しません。低学年なのでよっぽど怖かったのでしょうか。理科の教員の私は「大丈夫だよ、トカゲは何もしないと噛みついたりしないから。」そういう私に「でも犬と喧嘩してます(>\_<)」と泣きながら訴えます。小学生の表現力って素敵だなと思いながら、安心させるために仕方なく運動場に向かいました。▼なんか遠くからシャアアアアアって聞こえてきます(・\_・;)ん？トカゲがいる…犬もいる…喧嘩してる…ってかトカゲが全長1メートル以上もあるうらうら…怖い(T\_T)▼自分の中の常識が一番怖いのかもかもしれませんね。小学生は何も間違っていないのです。自分の目で見て、自分の肌で感じる事が一番大切です。自分の常識をたまには疑ってみるのも良いかもしれませんね。